

藍サポ通信～明日に向かって～に掲載されている写真は、本人又は保護者の同意を得て掲載しています。

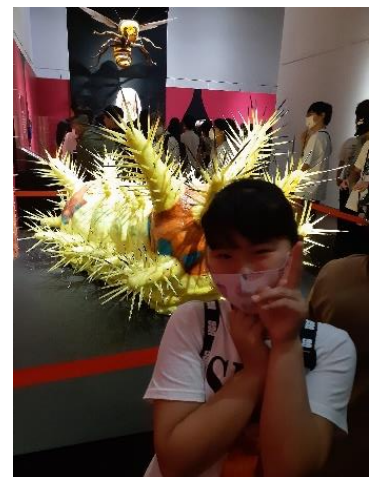


放課後等デイサービスくれよん
『子どもたちのおでかけも
増えてきました』
新型コロナウイルスの感染が少し
ずつ落ち着き、気候も暖かくなってき
たこともあり、外出を再開していま
す。先日も伊丹スカイパークへかけ
てきました。お弁当を食べたり遊具で
遊んだりしながら過ごすことができ
ました。また、長居公園では「毒展」
のイベントにもでかけてきました。



(毒展の模型を見ていると「さ」)

室内で過ごすことが多かったので子
どもたちの気分転換にもなり「おでか
け久しぶりだね」「楽しみだね」と
ウキウキした様子の笑顔が見られま
した。これから暑くなってきましたが、
体調管理に気を付けながら色々な所
におでかけ出来たらと思っていま
す！



新年度が始まりくれよんに新しい
お友達・スタッフがぐんぐん増え、恒例の自己
紹介の場を作りました。自己紹介当日
は緊張し、恥ずかしそうにしながらも
名前や、好きなことを一生懸命伝え、
周りの子ども達も話をしっかり聞いて
いました。また、繰り返し練習して
本番に臨む子どももいましたよ。そん
な場面を見ると「〇〇さん、頑張
ってるな」と成長を感じることがで
きました。自己紹介ができたこともあ
り、今では周りの子ども達とも仲良く
遊ぶことができます。

くれよんに新しい
お友達が増えました。

生活介護 藍(南館)

活動紹介

『やりたいことをやろうよ』

今回、生活介護藍(南館)では、1階の利用者さんが取り組んでいる活動や、楽しみにされていることを取り上げてみました。1階のグループで活動されている利用者さんは、年齢が高い人が多く、健康面での取り組みが必要な方々なのですが、まだまだやりたいことがたくさんあるようです。先日も皆さんとお話ししていると「USJにでかけたい」などの意見がいくつもできました。その中で昼食づくりがしたいという意見があり、調理実習をすることにしました。何を作るか、材料はどうするかなど利用者さんと話し合った結果、メニューは焼きそばにして、必要な材料は調理実習の前日に買い出しに出かけることにしました。

調理実習前日

JR平野駅近くにあるスーパーに材料を買いにでかけてきました。店内ではカートを押しながら各売り場を

めぐりました。玉ねぎを買うにしても個数や大きさ、品質などを考えないといけない場面もありましたが、買い忘れをすることなく買い物を終えることができました。

『いざ、調理開始!』

朝礼で調理工程を確認し、調理を始めるのとすぐにみんなの笑い声や、おしゃべりが聞こえ、賑やかな雰囲気のなかでのスタートとなりました。材料を切る、炒める、味付けなど積極的に参加されていました。炒める時はフライ返しを使って焦げないように炒めることができました。



『みんなでチャレンジしたよ』

調理後はみんなで振り返りをしましたが「おいしかった」「楽しかった」の声以外にも「私が味付けをしたよ」「私が野菜を切った!」など出来た事を自慢げに話す様子も見られました。

それぞれの思いの中にやりたい事を思い浮かべられるように普段の関わりの中でも興味関心を広げ、意欲や自信につながるような活動にしていきたいと思っています。

『実は授産製品の開発もしています』

授産活動では新たに「クリップ」の商品が加わりました。

木製のクリップにマスキングテープを貼り、タイル、ビーズ、シール、リボンなどをデコレーションして貼り付けていきます。

テープを貼る、飾りをつける、ラッピングをするなどいろんな工程を分担して作っています。ウッドピンチは、小物の飾りをかわいくアレンジしたり、食品の袋止めなどお好きな用途に使ってみてはいかがでしょうか。かわいい作品に仕上がっていますよ。

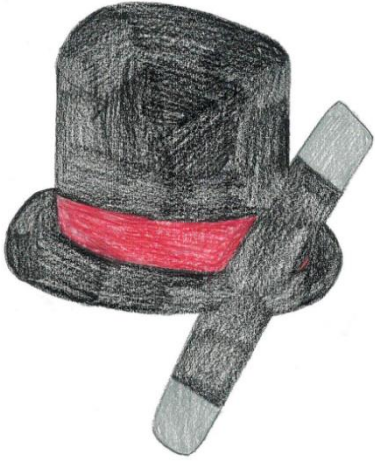


生活介護 藍(本館)

活動紹介

マジックショー開催!!

生活介護藍(本館)では月に1回、イベントを行なうことを目標にしています。5月は20日(土)に男性職員によるマジックショーが開催されました。利用者さんたちに楽しんでもらえるように、男性職員がマジックの練習をこつそり積み重ねてきました。



『そつごめ』

お披露目の時…!』

まずは一人目。スプーン曲げから始まりました。スプーンが目の前で次々に曲がっていくのを見て利用者さんたちは大興奮!自分が触ったスプーンが折れたのを見て更にビックリ!みんなのボルテージが一気に上がりました。続いて二人目はコインとチェーンを使ったマジック。消えたコインが観客のポケットから出てきて「えー!なんで?!!」という声や、三人目のカードマジックではマジシャンが見ていないカードを山札の中から引き当て「すごい!」という声が上がりました。四人目のコインとペンマジックは、選んだペンの色を見ずに当てたり、五人目の『不思議な箱』マジックでは、おとぼけシーンがあり利用者さんや職員からも笑いが巻き起こりました。

六人目は輪ゴム瞬間移動、消える水では折りたたんだ新聞紙の中に水を入れるシーンがあり、水で零れてしまうと思った利用者さんたちからは「うわー!」と声が上がりました。でも新聞紙が濡れることも水が零れることもなく、今度は新聞紙の中から水が元のコップに入っていく様子を見て利用者さんたちはびっくりしていました。最後の七人目は、「耳がく、でつかくなつちやつた」と見事に最後のオチを果たしてくれました。

利用者さんたちも「やりたい人?」と職員に聞かれて「はいはい!」と手を挙げて積極的にマジックに参加してくれ、皆の前でマジックをするのを「頑張れー!」と応援する姿もあり、全員で参加できたことを楽しんでいました。

これからも利用者さんたちに楽しんでもらえるような企画を考えていきたいと思っています。

利用者(S・K)さんが

描いてくれたイラストを

使用しています。



ヘルパー日誌

『おもいやり』

利用者さんと移動支援の打ち合わせをしている時の事です。当日のスケジュールは大体決まり、あとは昼食をどうするかという話になりました。その時、利用者さんから「お昼ご飯を食べるお店、もう決めてるので任せてほしい」と提案がありました。行きたい場所に行って好きな物を食べるのも移動支援の醍醐味なのでもちろん賛成し、お店の名前を確認せず打ち合わせを終わらせました。

移動支援当日、打ち合わせ通り利用者さんが行きたいとおっしゃっていたお店に行ってきました。値段が安くボリュームたっぷり、味も美味しくてとても良いお店でした。利用者さんから感想を聞かれとても良かったことを伝えると、すごく嬉しそうなお顔を覗かせてくれました。その時私は『すごく良いお店だったし、利用者さんが行きたくなる気持ちも分かるなあ』と考えていました。後日、別のスタッフから聞いて分かった事なんです。利用者さんはそのお店がとてもいいお店なのでそれを私に教えてあげたいと思っ

て選んでくれたそうです。つまりヘルパーを喜ばせたい意図があったみたいです。実際に私が喜んでる様子を見る事ができて「喜んでくれて良かった」とおっしゃっていただけです。

相手のことを考え、色々と工夫することで利用者さんに楽しんでもらったり喜んでもらうことはヘルパーとして当たり前の仕事だと思いますが、実際に楽しんでる利用者さんを見たり喜んでる姿を見るのはとてもうれしい気持ちになります。また、『うれしい』という気持ちはヘルパーだけでなく利用者さんと同じような気持ちになっていたのだと気付きました。

相談員のつづき

さすがです

今後の移動支援でも一緒に楽しむことができると思っています。

生活介護には看護師資格を持ったスタッフがいます。日々、利用者の皆さんと一緒に活動しながらひとりひとりの健康について考えてくれていますので私たち支援者も話がしやすい存在となっています。先日も薬のことや症状についてスタッフが相談している場面を見かけました。私たちが大丈夫だと思ってることでも医療から見たら違った考えがでてきたり、必要性や重要性に温度差があることに気が付かされませんでした。『さすがです』また、嘱託医の医師とも連絡を取りあっていただけではないこともあり、すぐに受診に結びつけることができた方もいました。

事業所名が変更

すでにお知らせでお伝えした通り社会福祉法人藍と有限会社ひらのは令和5年4月1日付で各事業所の名前を変更しています。配布書類や手続きなども順次新しい事業所名で記入させて頂いています。利用

者、ご家族の皆さんはもちろん私たち支援者も慣れていないこともあって電話での対応では以前の事業所名で話をしています。今後新しくなった事業所の名前が地域の中でより多くの方に知って頂けるように活動していきたく考えています。

新しくなった事業所名

社会福祉法人藍

生活介護 藍（本館）

生活介護 藍（南館）

放課後等デイサービスくれよん（藍）

有限会社ひらの

居宅介護 ひらの

放課後等デイサービスくれよん（ひらの）

相談支援 ひらの

介護タクシー ひらの

※ 今後ともよろしくお願いたします ※